

継続的に乳がん検診を受けましょう

女性がかかる最も多い悪性腫瘍は乳癌です。1 年間に新たに 11 万人が乳癌と診断されており、8~9 人に一人が乳癌になっています（この 50 年で 10 倍強に増えています）。一方で死亡率は全悪性腫瘍の中では 4 位で、他の癌に比べるとやや穏やかで治りやすい癌の一つです。早期発見・早期治療で 5 年生存率は 90%を越え、高い確率で完治も可能です。さらに現在では乳房を温存しながら、小さな切除術で癌を完全に取り除くことが可能です。

しかし、日本における乳癌検診受診率は約 40%で欧米諸国に比べるとかなり低いのが実情です。様々な事情がありますが、受診者の方にお聞きしますと、

- ① 自治体によってはマンモグラフィー検診の通知（はがきなど）が届かず、公報で乳癌検診の記事を探し、役所に申し込みをしないといけない場合がある。
- ② 女性は家事とパートなどの仕事の都合で検診の予約が取りにくい（めんどう）。
- ③ 会社の保険で検診を受けられている方では、併せて自治体の検診を受けられないと思っている方、または受けなくてもよいと思っている方がいる。（そのような方には、当施設では検査方法（マンモグラフィー、超音波検査）が重複しないようにしています。）

出来れば同じ施設で継続的に検診を受けられると、前回検査との比較ができ診断には大変有効です。また、マンモグラフィーで高濃度乳腺と記載された方でも微細石灰化で見つかる乳癌（非浸潤癌、全乳癌の約 14%）がありますので、自治体の乳癌検診は受けるようにしてください。

会社の保険で検診を受ける方はできるだけ利用していただき、併せて自治体の隔年マンモグラフィーをお勧めします。1 か月に 1 回はご自分での乳房チェックも大事です。

（文責：医師 山本和子）